

8月のできごと

昔の郷土資料に懐かしむ声

「昔はこれを使っていたんだよ」と懐かしむ声が聞こえる会場。お盆の帰省時期に合わせ、8月13日から15日までの3日間、郷土資料保管庫（追分中央）を一般公開しました。

これらの貴重な資料は、町民の方から寄贈されたもので、釜や食器の日用品や、農機具などが展示され、当時の生活や町の様子を知ることができます。

教育委員会では、機会あるごとに開館し、多くの方に見ていただきたいと考えています。



早来雪だるまも「やったあー」

特別住民票再発行

昨年12月に特別住民に登録された早来雪だるま郵便局舎屋根の上の雪だるま。その早来雪だるまの特別住民票が限定88枚で8月8日から再発行されました。これを受け、局舎屋根の上の雪だるまも「やったあー」と大喜び。

特別住民票を希望される方は、早来庁舎住民生活課、又は追分庁舎情報課にて交付していただきますのでお申込みください。



13チームが優勝を競う

トーナメント方式による職場・地区別等対抗ソフトボール大会が柏が丘球場で8月17日と21日に行われ、遠浅からの3チームを含め13チームが参加しました。

激戦を制したのは、若手農業者で組織した「安平ABC」で、準決勝、決勝は、逆転勝利により、みごと栄冠を勝ち取りました。

敗れたチームの選手から、「ソフトボールの楽しさと試合に勝つことの難しさを経験した。次回は優勝をめざしたい」と来年に向けてのコメントをいただきました。



安平川で、両地区の灯ろう流し

8月20日 早来と追分それぞれの地区で灯ろう流しが実施されました。追分地区では人々が川辺に集まり、僧侶の読経のあと、祭壇に手を合わせ灯ろうを流しました。街の中を流れる川の兩岸や橋の上には、恒例の行事を見ようと約200人の住民が集まりました。

早来地区では、毎年札幌や苫小牧からの申し込みもあり、今年は約300件の受付をしたと住職が話されていました。お寺から河川敷まで皆さんが灯ろうを持って歩く光景は、お盆の風物詩ともなっています。

両地区の人は、安平川という一本の川に先祖の冥福を祈り、灯ろうが川面に揺れながら流れていく幻想的でほのかな光をいつまでも見つめていました。

